

8月5日（月）



都立武蔵村山高等学校 ●41-73〇 都立東大和高校 BLAZINGRAYZ

相手校は、速いパスを利用して流れを作りディフェンスの隙を見て攻撃を行っていました。シュートを外してしまっても自分でリバウンドを取っていることが多く、東大和はそこに対応できずファールしてしまうことがありました。オフボールの動きがよく考えられていたので、すぐにボールが回されてしまうことが多く、見習いたいです。

本校は、リバウンドが取り切れておらず手先で弾くだけの時が多かったです。ディフェンスのカバーがしっかりできていたと思います。ハンズアップをしっかり意識できていたため、シュート時のファールが少なかったです。ドライブをして潰されそうになった時でも落ち着いてパスを出してスリーポイントに繋げるようなことが多かったです。相手のターンオーバーがあった瞬間に切り替えて攻めの形を取っていたので続けていくと良いと思います。